

サステナビリティレポート



エスエスケイフーズ株式会社

発行日：2025年11月

エスエスケイフーズの志(こころざし)

「おいしさの先に 健やかな未来を 共につくる」

私たちは安心安全を徹底し、味づくりの努力を実直に丁寧に積み重ねます
そして笑顔あふれる健康な未来を、みなさまと共に作りま

SDGs宣言

地球温暖化や世界的な人口爆発といった課題に直面する中、脱炭素をはじめとする持続可能社会の実現に向けた流れは社会の要請であり、世界的な潮流となっています。
当社は鈴与グループの一員として、グループ理念である「共生」の精神に則り創立以来努力を積み重ねてまいりました。
SDGsに掲げられている17の目標は、「共生」の精神と共通することが多く、当社の事業活動や取り組みは持続的な社会の実現につながるものと考えております。これからも世の中のニーズにいち早く応える「安心安全でおいしい商品」を提供し続けることでお客様に貢献し、その先にある社会に貢献してまいります。

サステナビリティ取り組みテーマ

重要課題	取り組みテーマ	ページ
1.環境保全	・ 温室効果ガス排出量の削減	2
	・ 廃棄物の削減とリサイクル率の向上	3
	・ 水使用量の削減と排水水質の安全確保	3
	・ 紙使用量の削減	4
2.包装資源の削減	・ 容器包装のプラスチック使用量の削減	4
3.働きがい	・ 生産性の向上	5
	・ 安全安心な製品の提供	5
4.健康	・ 従業員の健康増進	6
	・ 事業を通じ人々の健康へ貢献	6.7
5.働きやすい職場作り	・ 多様な働き方の推進	8.9
	・ DXによる働きやすさの向上	9
6.人材育成	・ 教育制度の拡充	9
7.その他	・ トピックス	10

対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日

サステナビリティ取り組み実績

1. 環境保全

① 温室効果ガス排出量の削減

取り組み内容		2030年度目標	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス排出量 (scope 1 + 2)	全体排出量 (t-CO ₂)	46%削減 (2022年度基準)	12,549	12,875	12,874
	原単位 (t-CO ₂ / t)	—	0.150	0.151	0.153

温室効果ガス排出量の削減目標は、藤枝工場の稼働開始により3工場体制となった2022年度を基準年度とし、2050年度のカーボンニュートラル化を見据えた2030年度までの削減目標を策定いたしました。今後の工場及び製造ラインの増減や製造品目の変更により、全体排出量の目標値は変更する可能性があることを踏まえ、温室効果ガス排出量の原単位も継続的に管理することで、削減活動を推進してまいります。

これまで各工場では、蒸気配管の保温強化や蒸気トラップの高性能化、エアコン稼働の最適化コントロールなどの対策を実施し、温室効果ガスの削減に取り組んでまいりました。その結果、2022年度に対し生産量は増加しましたが、これらの施策の効果により、全体の排出量を維持することができました。

また、地元静岡市が展開する森林環境アドプト事業に賛同し、その活動資金を援助することで、地域の森林保護とCO₂の削減・吸収に貢献しています。

トピックス

鈴与菊川バイオガスプラントにおけるバイオマス利活用の取り組み

鈴与グループでは、持続可能な社会の実現を目指し、バイオマス資源の有効活用に取り組んでいます。鈴与商事(株)と連携し、工場から排出される汚泥や残渣を【鈴与菊川バイオガスプラント】にて再資源化し、電気・熱・肥料などのエネルギーに変換しています。

静岡工場、焼津工場、藤枝工場から毎日約5.8トンのバイオマス原料を供給。プラントで生成された電気は売電し、再生可能エネルギーとして社会に還元しています。

また、発生する熱と二酸化炭素は鈴与商事(株)が運営するトマト農場（ベルファーム）にて有効活用され、農業の生産性向上にも貢献しています。

この取り組みにより、廃棄物の削減とエネルギー循環の促進を図り、環境負荷の低減と地域社会の持続可能な発展に寄与しています。



②廃棄物の削減とリサイクル率の向上

取り組み内容		2030年度目標	2022年度	2023年度	2024年度
廃棄物の削減	廃棄物量（t）	-	6,696	5,680	5,254
	再資源化率（%）	90%以上	87.4	83.7	84.4

廃棄物量は、一部の原料変更に伴い再資源化される廃棄物量が3年間で大幅に減少したことで、再資源化率も低下しました。2030年目標については、焼却処分されている廃棄物を見直すことで再資源化率90%以上を目指します。

トピックス

フードバンクふじのくに への寄贈の継続

2023年度より商品の一部を【フードバンクふじのくに】へ寄付する取り組みを開始しました。

【フードバンクふじのくに】を通じて寄付された食品は、こども食堂をはじめとする福祉施設協議会や生活困窮者支援団体に提供され、生活にお困りの方々や福祉施設で有効活用されています。

寄付実績（食品寄付量）は、2023年度：3.6トン、2024年度：5.4トンとなりました。



フードドライブにて集まった食品の仕分けボランティアに参加した様子

③ 水使用量の削減・排水水質の安全確保

取り組み内容		2030年度目標	2022年度	2023年度	2024年度
水使用量	全体使用量（千m ³ ）	-	1,128	1,183	1,104
	原単位（m ³ /t）	12.0m ³ /t以下	13.5	13.9	13.1

水使用量は、各工場で製造時の品種切替回数を少なくし、必要最小限の水量での作業を心掛け、節水に繋がりました。また、水の使用状況をリアルタイムで計測可能にしたことで早期に無駄を発見し削減することができました。

また、排水水質は、業者と排水設備のメンテナンス契約を行うことで、良質な排水を行うことができました。

④紙使用量の削減

取り組み内容	2022年度	2023年度	2024年度
印刷枚数（千枚）	1,161※	1,096	968

当社は2022年よりDX推進による紙の削減に取り組み、原材料発注のダイレクトFAX、紙の書類を廃止しデジタルデータでの回覧等を行い印刷枚数を削減しました。また、紙による物理的な受け渡し作業がなくなり回覧スピードが向上し作業効率が向上しました。

※2022年度は推測値

2. 包装資源の削減

①容器包装のプラスチック使用量の削減

取り組み内容		2030年度目標	2022年度	2023年度	2024年度
プラ容器包装使用量	使用量（t）	－	3,288	3,238	3,123
	原単位（t/t）	－	0.082	0.084	0.078
自社ブランド品の環境配慮型包材使用率（％）		50%以上	4.7	14.9	17.7

当社では環境配慮型包材を設定し、2022年以降順次プラスチック使用料を削減したドレッシングキャップの採用、シュリンクフィルムの薄肉化等を実施してまいりました。生産量の減少の影響もありますが、結果としてプラスチック容器包装使用量は2022年から微減しました。また、自社ブランドにおける環境配慮型包材の使用率は2024年度には15%を超え、2030年までに50%以上を目指します。

3. 働きがい

① 生産性の向上

取り組み内容	2022年度	2023年度	2024年度
製品歩留りの向上（％）	96.4	96.5	96.8

各工場ではフードロス削減のため、トラブル低減、配管ロス削減などに取り組んでいます。少しずつではありますが年々歩留りが向上しています。今後も継続的な改善活動でフードロス意識を高めていきます。

②安全安心な製品の提供

食品安全システム認証（FSSC22000）の取得状況

工場名	登録日
焼津工場	2012年10月18日
静岡工場	2018年5月21日
藤枝工場	2022年12月1日

FSSC22000認証は当社の3工場すべてで登録維持を継続しており、回収事故は発生しておりません。食品安全チームを中心に『安心・安全なものづくり』の啓発、やりがい、醸成を推し進めてまいります。

トピックス

事業計画発表会

当社では毎年4月に全社員が参加する【年度事業計画発表会】を開催しています。当日は、事業計画発表の他に、グループディスカッションや懇親会を通じて、部門や職位、年代の枠を超えた交流が行われ、社員同士の理解と結束を深める貴重な機会となります。年に一度、全社員が一堂に会するこの発表会は、会社の方向性を共有するとともに、相互理解と連携を深める重要な機会であり、このような場を通じて『志』の実現に向けた一体感を高めています。



4. 健康

① 従業員の健康増進

健康経営の一環として、社員の健康維持・増進を目的にさまざまな取り組みを行っています。取り組みのひとつである【食育マルシェ】は年4回開催し、開催月を『野菜摂取強化月間』としています。【食育マルシェ】では、専門講師による講義を実施し、参加者には旬の新鮮野菜を配布。社員からは「野菜の知見が深まり、旬の新鮮な野菜を食べる機会を得られる」と好評を得ています。また、全社員参加型の交流会では、初の対面形式で講師をお招きし、より深い学びと交流の場を提供することができました。今後も、社員一人ひとりが健康への意識を高め、より良い職場環境づくりにつなげてまいります。

② 事業を通じ人々の健康へ貢献

当社は、地元の小学生を招いた社会科見学および工場見学やマヨネーズづくり体験、SDGsに関する出張授業、また、食品メーカー5社と連携した食物アレルギー対応【プロジェクトA】への参画をはじめ、食育活動を推進しています。

また、県庁と地元スーパーと協力し、野菜摂取を促進する【野菜マシマシキャンペーン】も実施しており、これらの取り組みを通じて、食の安心・安全と健康的な生活の実現に貢献しています。

トピックス

フジエダこども実験教室 in エスエスケイフーズを開催

藤枝市内の小学生を対象とした【フジエダこども実験教室】を、次世代を担う科学人材の育成を目的に、藤枝市からの依頼を受け、藤枝工場にて開催しました。今回のテーマは【水と油って混ざるの??～オリジナルマヨネーズづくりで楽しくおいしく解き明かそう～】。当社の事業特性を活かした“乳化”のしくみを楽しく学べる内容で、12組のご家族にご参加いただきました。実験教室では、社員が講師を務め、親子で協力しながらマヨネーズづくりに挑戦しました。完成したマヨネーズと当社のドレッシングを使ったサラダの試食を楽しんでいただいたほか、ドレッシングの製造エリアを見学する工場見学ツアーも行い、科学とものづくりの楽しさを体感していただきました。



【わくわくしちゃう！？エスエスケイフーズでSDGs】小学校で出張授業を実施

地域社会との連携強化と次世代の環境意識向上を目的として、藤枝市内の小学校にて3年生と5年生を対象とした出張授業【わくわくしちゃう！？エスエスケイフーズでSDGs】を実施しました。社員が講師を務め、当社が取り組む環境配慮活動を

①二酸化炭素を減らす②水を大切に使う③ゴミをエネルギーにかえる④プラスチックを減らす⑤みんなの健康を応援 という5つの視点から紹介しました。

これらの取り組みを子どもたちにわかりやすく伝えることで、身近な環境問題と企業の役割について理解を深めてもらいました。

今後も、地域の未来を担う子どもたちへの環境教育に貢献してまいります。



食品メーカーによる食物アレルギー協同取り組み

「プロジェクトA」への参画、夢のお子様ランチレシピを発表



食物アレルギー配慮商品を持つ食品メーカー6社【エスエスケイフーズ・オタフクソース・ケンミン食品・永谷園・日本ハム・ハウス食品】は、「食物アレルギーの有無にかかわらず、みんなで食事をおいしく楽しめる社会の実現」に貢献することを活動理念とし、食物アレルギー配慮商品の普及やレシピの協同開発、情報発信、啓発活動に取り組んでいます。この協同取り組みを【プロジェクトA】と名づけ活動しています。

2024年4月に当社が参画いたしました。継続的な活動をすることで、食物アレルギーをお持ちの方だけでなく、学校や職場など、周囲の方々にも食物アレルギーについて考える機会を提供したいと考えています。2024年度も食物アレルギーに関する副読本を小学校へ無料配布、特定原材料8品目不使用の商品を使用した食物アレルギー配慮レシピを共同開発いたしました。当社の特定原材料8品目不使用シリーズは、学校給食から食物アレルギーの子どもでも安心して食べられる商品がほしいという声からでした。安心安全でおいしい商品の研究開発を行い、徐々にラインナップを拡大しており現在では従業員の食物アレルギーや食育への意識も向上しています。



特定原材料8品目不使用
「夢のお子様ランチ」



当社のたまご・乳を使っていないシーザーサラダドレッシングを
使用した「ブタさんポテトサラダ」

5. 働きやすい職場づくり

① 多様な働き方の推進

取り組み内容		2022年度	2023年度	2024年度
社員数（人）	総数	344	376	391
	男性/女性	237 / 107	266 / 110	277 / 114
平均年齢（歳）	総数	37.6	37.1	37.4
	男性/女性	40.0 / 31.8	38.7 / 33.1	39.0 / 33.5
平均勤続年（年）	総数	11.2	11.8	11.9
	男性/女性	12.6 / 6.9	13.3 / 8.2	13.3 / 8.7
女性管理職比率（％）		9.0	11.0	11.4
有休休暇取得率（％）		63.0	86.0	82.0
月平均残業時間（時間）		19.9	19.7	18.2
育児休業取得者数（人）		2	5	11
育児時短勤務者数（人）		7	6	8
介護休業・休暇取得者数（人）		0	0	1

当社は全員が活躍できる環境整備に継続して取り組んでいます。年次有給休暇の取得促進、育児・介護との両立支援、そして女性管理職の登用推進などを通じて、働きやすさと働きがいの両立を図っています。

トピックス

【えるぼし認定/認定段階3】に認定

2024年12月3日付で、女性活躍推進法に基づく更生労働大臣の認定制度【えるぼし認定/認定段階3】を取得いたしました。

【えるぼし認定】とは、一般事業主行動計画の策定・届出を行った事業主のうち、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況が優良である等の一定の要件を満たした場合に認定される制度です。今後も、すべての従業員が持てる力を発揮できる職場づくりを進め、持続可能な働き方の支援を推進してまいります。



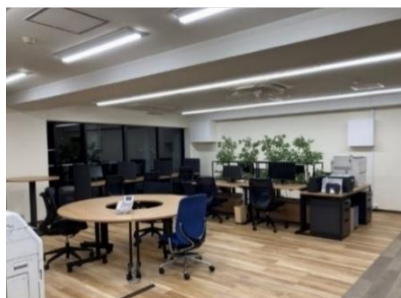
働きやすい環境づくり オフィスの改装

社員が心身ともに健康で持続的に働ける職場環境の整備ため、支店オフィスと工場食堂のリノベーションを行いました。今回の取り組みでは、フリーアドレス等の快適性と働きやすさを高めながら、環境への配慮も重視し、より持続可能なワークプレイスの実現を目指しました。

リノベーションにおいては、室内に緑化スペースや鉢植えを取り入れることで、視覚的な癒しと空気清浄効果を実現しました。



本社



東京支店 事務所



静岡工場 食堂

②DXによる働きやすさの向上

D X推進により、A I 議事録作成ツールやB I ツールの積極的活用推進、社内ルールの一斉化、データの見える化などを進めてきました。加えて、受注業務でのE D I、A I - O C R 活用などの自動化施策にも取り組み、業務の精度とスピード向上を継続的に目指すことで、効率化と柔軟な働き方の実現に努めています。

6. 人材育成

① 教育制度の拡充

取り組み内容		2022年度	2023年度	2024年度
教育・研修の拡大	研修費用（円/1人当たり）	13,914	27,877	48,846
	資格取得支援制度で資格取得者数（人）	15	46	45

階層別研修

社員のスキルアップと共通認識を持つことを目的に、階層別研修を実施しています。2024年度は新入社員フォローアップ、3年目フォローアップ、ロジカルシンキング、新任管理職、マネジメント基礎、ハラスメント等の12の研修を実施し、延べ482名の受講者数となりました。

資格取得支援制度

業務の幅を広げ、かつ個人のスキルアップを図ることを目的とし、会社が奨励する資格を取得した社員に対して係る費用を支援、また取得努力に対して報奨金を支給する制度を運用しています。2024年度は45名が合格し、自己研鑽に励みました。

その他

トピックス

清水エスパルスを応援しています！！

当社は2017年より、Jリーグのプロサッカークラブ【清水エスパルス】のオフィシャルパートナーとして、地域スポーツの振興と活力ある地域社会の実現に貢献しています。

- ・ホームゲームでのブースの出展・抽選会の実施
- ・静岡県およびクラブマスコット【パルちゃん】とのコラボレーション企画
- ・エスパルスパッケージのマヨネーズの販売等のさまざまな取り組みを行っています。

清水エスパルスとの継続的なパートナーシップを通じて、地域活性化を目指した魅力的なまちづくりを推進してまいります。



エスパルスパッケージ
マヨネーズ



静岡県×エスエスケイフーズ
野菜マシマシキャンペーンイベント
藤枝工場にパルちゃんが来場！



鈴与エスパルスDAYの様子
本社・支店・工場すべてがオレンジに
染まります！

クライミング日本代表 小武芽生さん（当社社員）を応援しています。

営業本部 大阪支店には、クライミング日本代表 小武芽生選手が所属しています。小武選手に日本を代表する選手として、安定した生活基盤の中で競技活動に打ち込んでもらい、トップアスリートとして活躍いただくよう今後も全力でバックアップしていきます。

↓小武選手よりメッセージ↓

クライミングは身体の強さはもちろん、発想力や想像力も大事なスポーツです。また、強くなるためや、登りたい課題を成功させるまでのプロセスやスタイルは人それぞれであり、自分なりに真摯に向き合うことが大切です。

SDGsもあらゆる方面のアプローチからの発想が大きな変化に繋がってくると思うので、できるだけ多くの人々が、少しでも意識しながら生活をしていくことが大切だと思います。

プロフィール

北海道出身28歳。

スポーツクライミング日本代表として海外での大会を舞台に10年以上活躍中。大会だけでなく自然の岩を登るロッククライミングの記録にも挑戦し続けている。

